

屯田南小学校 いじめ防止基本方針

- いじめが発生しない学校風土をつくるために、教職員が一丸となって取り組みます。
- 相手を思いやる気持ちや、多様な見方・考え方を受け止められる広い心を育む取組を進めます。
- いじめの発生に気付いた時には、的確・迅速・丁寧に対処し、教職員はもちろん保護者・地域、関係機関とも協力・連携し、問題解決に向けて取り組みます。

いじめの未然防止

- ・学ぶ楽しさを実感できる「わかる・できる」授業
- ・規律に支えられた居心地のよい学級・学年・学校づくり
- ・「ひまわり活動」を通して、相手を尊重し思いやる心の育成
- ・健康な体作りと健康教育の実施

「夢いっぱい 笑顔いっぱい
あいさついっぱいの屯田南小学校！」
進んで学ぶ子・体をきたえる子・最後までやりとげる子・思いやりのある子

いじめの早期発見

- ・教職員の感度を高くし、情報をキャッチ
- ・アンケートの活用
- ・個にあった指導の充実
- ・児童・保護者との信頼関係づくり
- ・相談・対応の組織の強化

いじめへの対応

- ・組織での迅速かつ的確な状況判断と対応
- ・いじめを受けた児童・家庭への対応・連携
- ・いじめを行った児童・家庭への対応・連携
- ・再発防止に向けた見守りと検証

1. はじめに

(1) いじめ防止におけた基本的理念

いじめは、いじめを受けた児童の教育を受ける権利を著しく侵害し、その心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与えるのみならず、その生命または心身に重大な危険を生じさせるおそれがあるものである。

札幌市立屯田南小学校では、教職員・保護者・地域が一体となって、いじめの問題に取り組むよう、「いじめ防止対策推進法」第13条および、札幌市教育委員会の方針に基づき、基本的な方針を策定する。

「いじめの防止等の対策は、全ての児童生徒が安心して学校生活を送り、様々な活動に取り組むことができるよう、学校の内外を問わず、いじめが行われなくなるようにすることを旨として行わなければならない。また、すべての児童生徒がいじめを行わず、いじめを認識しながら放置することがないように、いじめの防止等の対策は、いじめが、いじめられた児童生徒の心身に深刻な影響を及ぼす許されない行為であることについて、児童生徒が十分に理解できるようにすることを旨としなければならない。加えて、いじめの防止等の対策は、いじめを受けた児童生徒の生命・心身を保護することが特に重要であることを認識しつつ、国、地方公共団体、学校、地域住民、家庭その他の関係者の連携の下、いじめの問題を克服することを目指して行われなければならない。」と、国の「いじめ防止等のための基本的な方針（抜粋）」には記されている。札幌市では下記のいじめ防止のビジョンを掲げ、全市でいじめ防止に取り組んでいく。

学校・家庭・地域総ぐるみで

いじめは「しない・させない・許さない」を徹底

本校では、この基本理念をもとに、「いじめはどの学校でも、どの学級でも、どの児童にも起こりうる」という基本認識に立ち、いじめの定義やいじめ防止基本法を理解し、学校がいじめ防止等の対策のための校内組織を作り、いじめの未然防止・早期発見・対処の取組を組織的に進めていく。

また、学校いじめ防止基本方針に基づく取組を学校評価の評価項目に設定し、取組の成果や課題を検証していくこととする。

2. いじめの基本認識

(1) 「いじめ」とは

「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人間関係のある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものも含む）であって当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの」と定義されている。（いじめ防止対策推進法）

本校では、下記の態様が見られた場合には、いじめとして対応を進めていく。

*冷やかしかやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。

*仲間外れ、集団による無視をされる。

*軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。

*ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。

*金品をたかられる。

*金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。

*嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。

*パソコンや携帯電話、スマートフォン等で誹謗中傷や嫌なことをされる。

(国の「いじめ防止等のための基本的な方針より」)

(2) いじめの未然防止に対する取組

いじめを未然に防止するためには、一人一人の心を豊かに育むことが不可欠である。一人一人が安心して過ごせる集団や環境づくりに取り組んでいく。

～知・徳・体の調和のとれた育成の視点から、

いじめが起きにくい状況を作り出す～

① 知・・・学びをすすめ、ふかまる「輝く笑顔」

学校生活の基本は授業である。授業時間で自己肯定感を高め、他者意識を高めていく「わかる・できる・楽しい授業」の視点に沿った授業改善を行っていく。また、情報モラル教育を学年ごとに実施すると同時に、保護者への情報提供を行い、啓発に努める。

② 徳・・・心をつなげる「輝く笑顔」

・規律に支えられた温かさに満ちた学校経営がすべての基盤である。どの子ども生かされ、どの子どもにも居場所がある居心地のよい学級づくりを目指していく。優しい気持ちや友達への思いやり、あいさつしあえる仲間意識を育てていく。

・縦割り活動「ひまわり活動」を継続し、異学年とかかわりあう中で、相手を思いやる心を育てるとともに、自分を律する気持ちを醸成していく。

・自治的な活動を推進することで、自分たちの手で「よりよい学校・よりよい屯田地域」を創造していく意識を育てていく。

③ 体・・・体が動き出す「輝く笑顔」

遊びや学習、勤労奉仕的な行事を通して、一生懸命に体を動かし、どの子ども心地よい汗を流すことができる学校づくりを目指す。健康な学校生活を送ることでストレスの少ない生活につなげていく。今年度はグラウンドの工事があり、外での活動に制限ができてしまう。活用できる場所を工夫しながら、最低限度の活動機会を保障していきたいと考える。

いのちの学習や保健指導、食育指導などの健康教育を充実させ、自分の体を大切にするとともに、相手を大切にしようとする気持ちを育てていく。

- ④ 安心・安全・・・子ども・保護者・地域・職員、みんなが「輝く笑顔」
 - ・一人一人の思いに寄り添い、個にあった継続的な指導にあたる。
 - ・相談支援パートナー・学びのサポーター・SC・SSW等と連携し、指導の充実を図る。
 - ・落ち着いた学級・学年経営ができるよう、学習規律や学校のルールを確立し、指導を徹底させる。
 - ・情報共有を心がけ、全教職員で全児童を育てる視点に立ち、指導を行う。

(3) いじめの早期発見

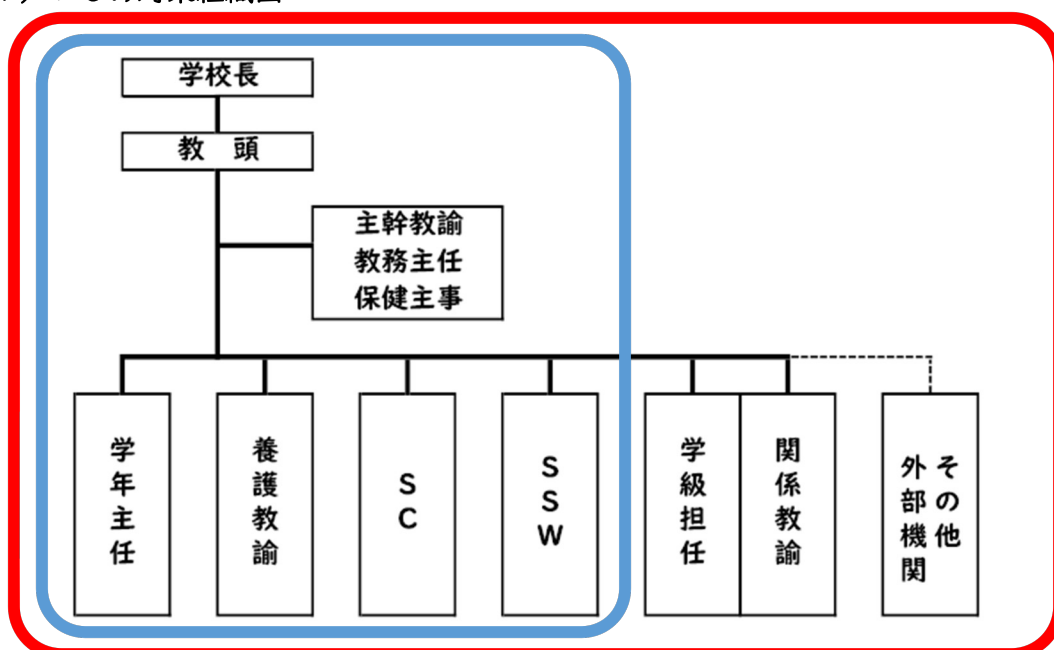
毎朝実施する「シャボテンログ」を活用しての心と体のチェック、7月の児童へのアンケートと11月の『悩みやいじめに関するアンケート』、7月・11月の児童面談の実施を通して、子どもの不安やいじめの状況を把握していく。アンケートはもちろん、チェックリストを活用しながら、日常の子どもの姿から「いじめのサイン」(資料①)に気付き、早期発見に努めていく。また、いじめの兆候を見聞きした教職員が、いじめの兆候を安易にとらえず、また一人で抱え込まず、事実を共有できる体制を確立する。

(4) いじめの早期対応

いじめ発生時には、校長をリーダーに、当該児童の安全・安心の確保を最優先として、迅速かつ慎重に組織的対応を行う。(4. 対応フロチャート、5. 基本的対応参照) 当該児童や関連児童等からの情報をもとに、状況を的確に把握し、今後の対応策について組織で検討・指導・見守りを行う。合わせて保護者との連携も密にして、学校と家庭が一丸となっていじめ解消に向けて取組を進めていく。

3. 屯田南小学校のいじめ対策組織図・いじめ対策会議

(1) いじめ対策組織図



(2) いじめ防止対策会議【定例】

通常時、下記の通り開催し、いじめに対する感度を高め、未然防止に努める。

① 会議日

- ・ 定例会として位置づけ、毎月1回学年会の後に実施。
- ・ 全体会として、前後期の学びの支援全体会の閉会後に全職員で実施。
- ・ その後、必要に応じて臨時で実施。

② 構成員

- ・ 定例会は、『2. 屯田南小学校のいじめ対策組織図』の、青枠内を構成員とする。
- * 必要に応じて、メンバー構成は柔軟に対応する。

③ 検討内容

- ・ 「屯田南小学校いじめ防止基本方針」に基づく未然防止等の取組の実施、進捗状況の確認、定期的検証を行う。
- ・ アンケート調査や教育相談等についての計画的な実施
- ・ いじめに関する情報の集約
- ・ 教職員の共通理解と意識啓発（いじめに関する研修会の実施等）
- ・ 児童や保護者、地域への情報発信
- ・ 「屯田南小学校いじめ防止基本方針」の改善についての協議

(3) いじめ対策会議【緊急時】

いじめの発見があった時には、緊急時として開催し、早期解決に向けた対策会議を行う。

① 会議日

- ・ 発見時に開催し、その後、必要に応じて開催する。

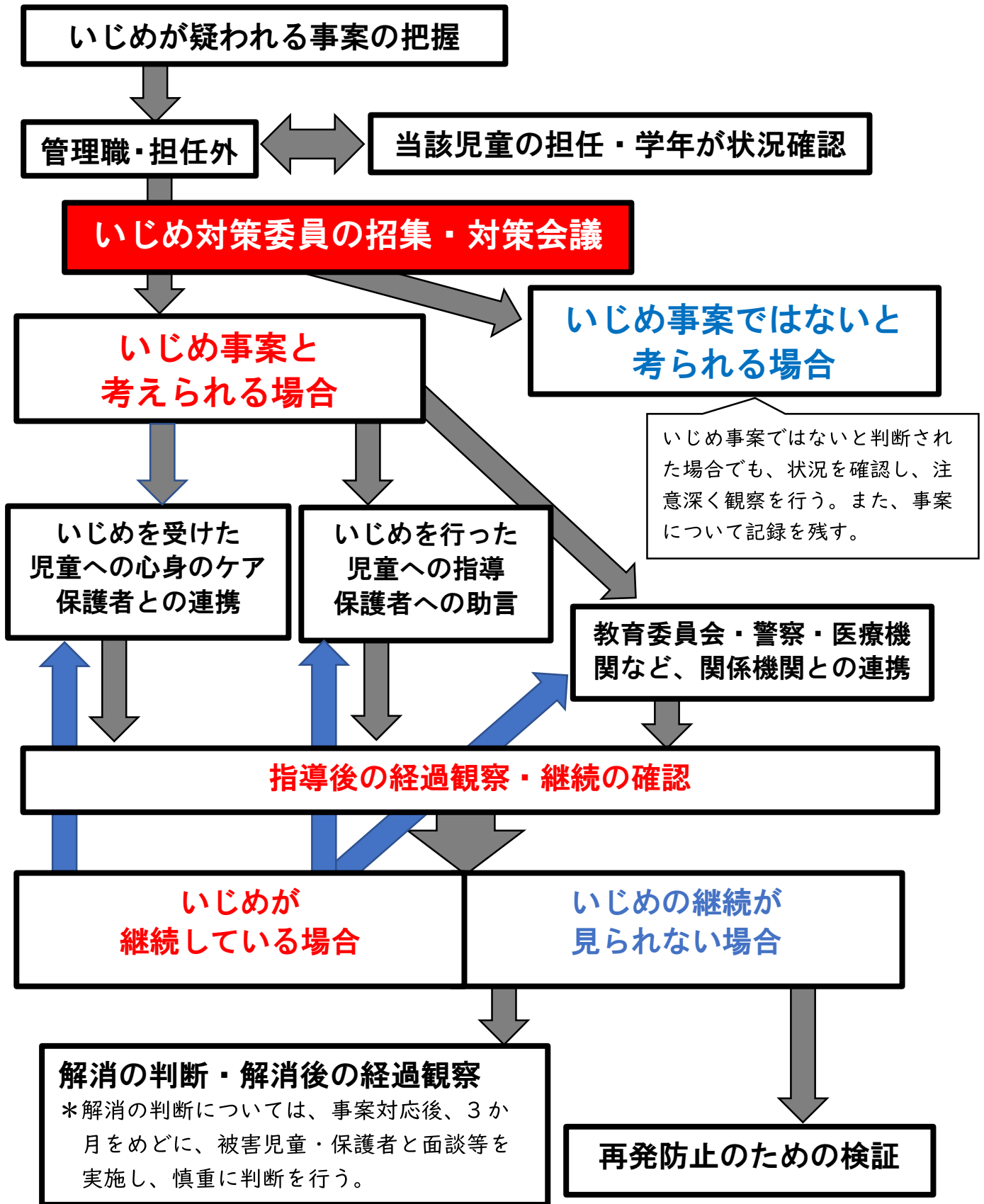
③ 構成員

- ・ 緊急時は、『2. 屯田南小学校のいじめ対策組織図』赤枠内を構成員とし、必要に応じて外部機関に協力を要請する。
- * 必要に応じて、メンバー構成は柔軟に対応する。

③ 検討内容

- ・ 把握したいじめについて、状況の報告、情報の整理等を行う。
- ・ 問題解決に向けた対応策や今後の取組について検討を行う。

4. 屯田南小学校のいじめ事案に対する対応フローチャート



5. 屯田南小学校のいじめ事案に対する基本的対応

(1) いじめの疑いのある事案の把握・事実確認

- ・把握した教職員から、当該児童の担任・学年主任への連絡、管理職・担任外への連絡（いじめのサインと思われる言動・いじめについての噂・本人からの訴え 等）
- ・事実関係を確認するための情報収集と情報整理

(2) いじめ対策委員の招集・会の開催 *すべてを記録化する。

①事実関係の把握・緊急対応

- ・事実確認のための役割分担（複数での対応）
- ・関係児童からの聞き取り・記録

②把握した事実から、今後の対応についての検討、指導

【いじめを受けた児童】

- ・安全・安心の確保、心のケア（SCとの連携）

【いじめを行った児童・傍観していた児童】

- ・事実の確認とともに、いじめ事案になった背景をさぐり、それを踏まえた指導を検討
- ・相手の心情の理解を深めるとともに、自分の行動を振り返り、責任を自覚させる指導を学年協働で実施
- ・いじめ事案を振り返り、自分の取るべき行動についての反省を促し、児童の関係修復に向けた行動（謝罪等）についての対応を促す。

【それぞれの保護者】

- ・事実について伝達し、対応等について丁寧に説明を行う。
- ・適切かつ迅速に対応していく。

【関係機関への報告・連絡・相談】

③経過観察

【解消におけた経過観察】

- ・児童の関係について注意深く観察し、その様子をいじめ対策委員会で情報共有する。
- ・必要に応じて、保護者とも連携を図り経過について情報の伝達を行う。
- ・児童の変容を見取り、声掛けを行う。

【いじめの解消】

- ・3か月以上の経過観察ののち、被害児童・保護者との面談等を踏まえ、経過をいじめ対策委員会で検証し、慎重に判断する。

【いじめが解消されていない場合】

- ・加害児童・傍観児童に対し、さらなるいじめ防止の指導
- ・場合によっては、いじめを行っている子どもへの出席停止措置を講じ、保護者に対し措置に対する説明を行う。

(3) 再発防止に向けた検証

- ・事案を整理し、どのようにすれば早期発見・未然防止につながったのかを、事例検証し、再発防止に向けた取組を強化する。

緊急対応の必要性がないと判断された場合でも、児童からの聞き取り・保護者連絡等を行い、経過について注意深く観察し、事案について記録を残す。

6. 屯田南小学校のいじめ重大事態への対応

(1) いじめ重大事態について

屯田南小学校では、下記の事案については、「重大事態」として対応を行う。同種の事案の発生の防止に資するため、速やかに適切な方法により事実関係を明確にするための調査を実施する。

【いじめ重大事態】

- ① いじめにより、児童等の生命、心身または財産に、重大な被害が生じた疑いがあるとき
- ② いじめにより、児童等が相当の期間、学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあるとき
*「相当な期間」については、不登校の定義を踏まえ、年間30日を目安とする。
- ③ 児童等や保護者から、いじめられて重大事態に至ったという申し立てがあったときは、その時点で学校が「いじめの結果ではない」あるいは「重大事態とは言えない」と考えたとしても、重大事態が発生したものとして報告・調査等に当たる。

(2) 外部機関との連携について

屯田南小学校では(1)の調査を行ったときには、いじめを受けた児童等およびその保護者に対し、必要な情報を適切に提供する。また、札幌市教育委員会や外部機関と連携しながら、加害者および被害者への心的ケアにあたるなど、専門家からの助言をもとにした支援を検討する。

7. その他

- ・タブレット端末を用いた心の健康観察アプリを毎朝実施し、児童の内面の思いを確認していく。集まった情報は、複数の教職員で共有し、その後の指導・対応に役立てていく。
- ・学校評価の項目に「いじめ防止の取組」を入れ、取組の検証をし、次年度以降の改善につなげる。
- ・基本的にいじめに関する対応は、校長の監督のもと、いじめ対策委員会で実施する。ただし、場合により、札幌市教育委員会と相談の上、学校として所轄警察署へ相談し、連携した対応に当たることもある。
- ・緊急性が高いと判断した事案や、重大事態につながるものが十分懸念される事案については、速やかに札幌市教育委員会に報告し、連携して対応に当たる。

8. 屯田南小学校のいじめ対策委員会 年間計画

学期	月	定例会議日程	いじめにかかるアンケート調査	教育相談	校内研修 未然防止教育	保護者・地域・関係機関、パートナー校との連携
1	4	3日	・シャボテンログによる心と体の健康観察 (毎日実施)		・学校いじめ防止基本方針の改定	・学校いじめ防止基本方針の周知 ・教育相談による家庭との連携 ・学校説明会(17日)
	5	1日		・個人懇談による家庭との情報共有	・いじめ対策全体会(18日)	
	6	8日				
	7	3日	・児童アンケート実施 ・いじめの状況報告	・アンケートをもとに聞き取り調査	・命大切にする指導の徹底通知を活用した研修	・学習参観・懇談で学年・学級の様子について共有
2	8	25日				
	9	7日 18日			・いじめ対策全体会(18日)	
	10	5日		・個人懇談の実施 家庭との情報共有		・教育相談による家庭との連携
	11	2日 20日	・悩みやいじめに関するアンケート調査		・いじめ対策全体会(20日)	
	12	7日	・児童アンケート実施 ・いじめの状況報告	・アンケートをもとに聞き取り調査	・命大切にする指導の徹底通知を活用した研修	・学習参観・懇談で学年・学級の様子について共有
3	1	15日				
	2	8日	・いじめの状況報告 ・児童の諸課題に関する調査			・学習参観・懇談で学年・学級の様子について共有
	3	1日		・1年の振り返りと次年度への情報共有	・命大切にする指導の徹底通知を活用した研修 ・いじめ対策全体会(1日)	・学校評価公表

*緊急時のいじめ対策会議は、上記日程にかかわらず、発生時に開催する。

資料①【いじめのサイン チェックリスト】

《登校前（家庭）》

チェックポイント	配慮事項
<input type="checkbox"/> 朝起きてこない。布団からなかなか出てこない。 <input type="checkbox"/> 朝になると体の調子が悪いと訴え、学校を休みたがる。 <input type="checkbox"/> 食欲がなく、口数が少ない。 <input type="checkbox"/> 遅刻することが増えた。	・家庭との連携（情報共有）

《登校～朝の会》

チェックポイント	配慮事項
<input type="checkbox"/> みんなよりも早く登校する。 <input type="checkbox"/> 時間ぎりぎりに登校する。 <input type="checkbox"/> 理由のはっきりしない遅刻や欠席が多くなる。 <input type="checkbox"/> 担任が教室に来るまで、廊下などで待っている。 <input type="checkbox"/> 担任との挨拶や出席確認の返事が小さい。 <input type="checkbox"/> 沈んだ表情や緊張した様子が見られる。	・家庭との連携（情報共有）

《授業時間》

チェックポイント	配慮事項
<input type="checkbox"/> 1人遅れて教室に入ってくる。 <input type="checkbox"/> 授業のはじめに用具が散乱している。 <input type="checkbox"/> 忘れ物が多くなる。 <input type="checkbox"/> グループ決めの時などに話に入れない。 <input type="checkbox"/> 係決めなどの時、特定児童の名前があがったり、ふざけ半分に推薦されたりする。 <input type="checkbox"/> 教師が当該児童を褒めると、嘲笑や揶揄が起こる。 <input type="checkbox"/> 正しい意見なのに、野次や笑い声などが出て支持されない。 <input type="checkbox"/> 発表回数が少なくなり、活発さがなくなる。 <input type="checkbox"/> 掲示板の作品や机などに落書きやいたずらをされる。 <input type="checkbox"/> 配付物を配る時、当該児童に渡すのを嫌がる。 <input type="checkbox"/> 理科実験などで後片付けをやらされている。 <input type="checkbox"/> 道具や器具を触らせてもらえない。 <input type="checkbox"/> 音楽で歌えなかったり、演奏できなかったりする。 <input type="checkbox"/> 常に周りを気にしている。 <input type="checkbox"/> 当該児童を見ながら、こそこそ話をしている。 <input type="checkbox"/> 不自然に机や椅子を離されている。 <input type="checkbox"/> 不調を訴え、保健室に行くことが増える。 <input type="checkbox"/> 早退が多くなる。 <input type="checkbox"/> 放課後が近付くと、そわそわしたり、元気がなくなったりする。	・誰が片付けるのかを観察する。 ・他の児童の態度や視線などの非言語表現に注視する。 ・要指導…何らかの配慮、指導を行う。 ・養護教諭と情報共有する。

《休み時間》

チェックポイント	配慮事項
<input type="checkbox"/> 一人でぼつんとしている。 <input type="checkbox"/> 笑顔がなく、おどおどしている。 <input type="checkbox"/> 用もないのに職員室に来る。 <input type="checkbox"/> プロレスごっこなどで技をかけられる。 <input type="checkbox"/> 教室移動時によく荷物を持たされる。 <input type="checkbox"/> 授業が始まって教室に戻りたがらない。 <input type="checkbox"/> 保健室の来室回数が増える。	<ul style="list-style-type: none"> ・意識的に声を掛ける。 ・メンバーを把握し、記録する。 ・養護教諭と情報共有する。

《清掃・給食時間》

チェックポイント	配慮事項
<input type="checkbox"/> 給食を食べない。食欲がない。 <input type="checkbox"/> 配膳を嫌がられる。 <input type="checkbox"/> 表情が暗く、一人で黙々と清掃している。 <input type="checkbox"/> みんなの嫌がる仕事をしていることが多い。 <input type="checkbox"/> 当該児童の机や椅子が運ばれていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師も一緒に配膳したり、食べたりする。 ・周りの子の様子を観察する。

《帰りの会》

チェックポイント	配慮事項
<input type="checkbox"/> 持ち物の紛失が増える。 <input type="checkbox"/> 泣いていたり、机に伏せていたりする。 <input type="checkbox"/> 自分の持ち物ではないものが机やかばんに入っている。 <input type="checkbox"/> 教室以外の場所にいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・そのままにすることなく、よく話を聞いて対応する。一緒に探す。

《委員会活動・クラブ活動・係活動》

チェックポイント	配慮事項
<input type="checkbox"/> 残りの仕事を押し付けられる。 <input type="checkbox"/> 嫌がる仕事や大変な仕事を一人でやっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者が不在の時間をつくらないようにする。

《下校時から放課後》

チェックポイント	配慮事項
<input type="checkbox"/> 机や椅子が乱れ、整理整頓ができていない。 <input type="checkbox"/> いつも教師に相談したそうに寄ってくる。 <input type="checkbox"/> かばんや持ち物が隠される。 <input type="checkbox"/> 下校が早かったり、いつまでも残っていたりする。 <input type="checkbox"/> ゴミ箱の中に持ち物が捨ててある。 <input type="checkbox"/> 荷物を持たされて歩いている。 <input type="checkbox"/> 不自然なグループで帰っている。 <input type="checkbox"/> 一人で帰る。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に教室の状態を確認する。 ・しっかり向き合って話を聞く。 ・保管し、次の日に話を聞く。 ・メンバーを把握し、記録する。

《下校後～就寝時（家庭）》

チェックポイント	配慮事項
<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 理由をはっきり言わない傷やあざがある。 <input type="checkbox"/> 学校で使う物や持ち物がなくなったり壊れていたりする。 <input type="checkbox"/> 教科書やノートなどに嫌がらせの落書きや破れなどがある。 <input type="checkbox"/> 携帯電話や SNS の着信を気にしている。おびえている。 <input type="checkbox"/> 集中力がなく、勉強しなくなる。 <input type="checkbox"/> 家からお金を持ち出したり、お金の使い方に不審な点がある。 <input type="checkbox"/> 親しかった友達が遊びに来なくなったり、遊びに行かなくなったりする。 <input type="checkbox"/> 表情が暗く、家族との会話も少なくなる。 <input type="checkbox"/> 些細なことでイライラしたり、物にあたったりする。 <input type="checkbox"/> 自分の部屋に閉じこもることが多くなった。 <input type="checkbox"/> 寝つきが悪かったり、眠れない日が続いたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭との連携(情報共有)